



ことしも慰問に来たよ!

▲10月15日、大嶽保育所の4・5歳児64人が、毎年恒例になっている特別養護老人ホーム「白銀荘」を慰問しました。子どもたちが日ごろから一生懸命練習した歌や踊りを披露すると、入所しているおじいちゃん・おばあちゃんたちは手拍子などをして、楽しいひとときを過ごしました。



日ごろの思いを意見発表

▲9月20日、教育関係者など約100人が参加して、第12回南国市青少年健全育成大会が市役所で開かれ、市内4中学校代表8人と高校生2人が、日ごろの思いを意見発表しました。また、ボランティア活動や環境問題への関心をもち、多年にわたり施設訪問、清掃活動に取り組んでいる北陵中と高ヶ池中の生徒会を善行少年表彰しました。

稲生小PTA強し!

▶十月十日、第二十回南国市PTA体育交歓会が行われました。約五百人が参加し、四会場で熱戦を展開。好プレー・珍プレーあつた和気あいあいの中、心地よい汗を流しました。成績はソフトボール、バレーボールとも稲生小学校PTAが栄冠に輝きました。



市民の交通安全意識の向上を

▲秋の全国交通安全運動が9月21日から30日まで行われました。運動期間中の27日、高齢者交通安全の集いが市役所で開かれ、高齢者交通安全モデルクラブに認定されている大浦「西部千寿会」のメンバーが参加し、自転車の安全運転指導などや反射材の着用効果など夜間の事故防止策についての実験を行いました。



今朝も元気に体操を

▲長岡西部の第2集会所では、毎朝自主的にラジオ体操を行っています。いつも30人程度が参加し、ラジオ体操だけでなく歌謡曲に合わせた体操も取り入れています。

▶空の日・空の旬間の九月二十一日、記念行事が新加通港で行われました。小・中学生約百三十人がコックピットの見学や航空教室に参加。また募集した飛行機などに開する図画の入選作品が展示され、入賞者への表彰式では、門田助役らが賞品を三渡しました。



ウナギをうまくつかまえられるかな

▲9月26日、里保育所の園児に保護者からウナギ6匹がプレゼントされました。園児たちはクワイなどに移されたウナギを捕まえようと四苦八苦。滑って転んだり、なかなか捕まえることができず泣いてしまう子どももいたり大騒ぎ。持って帰ったウナギはおいしかったかな。



お年寄りもスポーツの秋

▲老人体育まつりが九月二十七日、市民体育館で開かれ、市内の六十歳以上のお年寄り約五百人がスポーツの秋を楽しみました。開会式では、稲生地区の選手代表が「健康と友和を大切に正々堂々と競技します」と宣誓。続いて、八チームに分かれ、八種の競技に力いっぱい取り組みました。



金沢市と南国市がからくり交流

▲行出の万能科学者「細川半蔵」の偉業をたたえ、からくり人形の復元作業に取り組み、科学の心を育てようと活動しているからくり半蔵研究同志会は9月27日、金沢市の大野からくり記念館からくり楽会の13人を招き、からくり創設工房で交流を行いました。この交流会はお互いの取り組みを学び合い、今後に生かそうと開かれたものです。



秋空の下をウォーキング

▲体育の日の10月10日、第9回南国市さわやかウォーキングが開催されました。ことしは三和小学校・琴平神社周辺約4kmのコースを約250人がウォーキング。コースに用意された4つの関門ではクイズやゲームに挑戦し、心地よい汗を流しました。



民生児童委員制度80周年

▲制度80周年を記念し、保健福祉センターで9月28日、高知市出身で韓国において3千人の孤児を育てた田内千鶴子さんの生涯を描いた映画「愛の黙示録」の上映会が開かれました。また、10月18日には市役所玄関前で記念植樹を行いました。



自慢の踊りや芸を披露

▲十月十二日、第十七回南国市演芸大会が市民体育館で開かれ、各地区の芸能サークルなどのメンバーが自慢の歌や踊りを披露しました。この日は各地区から団体、個人合わせて約九十人が出演。会場いっぱい詰めかけた観客から盛んな拍手が送られていました。入場料などの収益金は、福祉事業に使われます。



最後の採集チャンス

▲九月二十一日、備石で「おもしろ科学教室」「サイエンス・バラエティー講座」の受講生約四十人が、化石の採集に挑戦しました。この場所での採集は、開発のために今回の最後のチャンス。アンモナイトや巻き貝・シダ類などたくさん化石を採集しました。



新しい園舎はもうすぐ

▲老朽化のため、建て替えを行う東部保育所の起工式が、10月1日に新園舎予定地で行われました。式には東部保育所の園児も出席。なお、新園舎は木造平屋建てで、来年2月中に完成予定。